

ステアリングダンパーステーキット 取扱説明書

(06-01-0070:125mm ストローク専用)

製品番号 06-01-0129

適応車種	XR50 Motard (AD14-1000001 ~)
	XR100 Motard (HD13-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品は、弊社製別売のステアリングダンパー :06-01-0070 専用のステアリングダンパーステーキットです。
ステアリングダンパー TYPE-1:06-01-300 には使用出来ませんのでご注意下さい。
- ◎分解、組み付け作業は、適応車種の純正用サービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
取り付けに経験の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちでない場合は、取り付け作業は行わずに指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎ステアリングロック時、ダンパーロッドとロック本体の隙間が少なくなる為、ダンパーロッドに傷を付けないよう十分注意して下さい。
- ◎ステアリングにガタがある等正しくメンテナンスがされていない場合、ステアリングダンパーの性能が発揮出来ません。
正しくメンテナンスを行って下さい。
- ◎ハンドルを右一杯に切った時に取り付け位置によっては、ステアリングダンパーを傾けるとシュラウドの1部に干渉する場合があります。
使用には影響しませんが、気になる場合シュラウドの干渉部分を加工し対処して下さい。
- ◎アップタイプのマフラーとの同時装着は出来ません。
- ◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

～特徴～

- フレームステーはアルミ削り出し加工品とステンレス製Uボルトを組み合わせ、取り付け位置を微調整出来る様設計しております。
- ダンパーステーは確りとフロントフォークをホールド出来るアルミ削り出し2ピース構造で作業性を向上させております。表面には耐食性に優れたアルマイト処理を行っています。
- ノーマルステム&ノーマルトップブリッジ及び弊社製ステム&トップブリッジどちらにも対応します。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- 走行中は、危険ですので絶対にステアリングダンパーの減衰力調整は行わないで下さい。調整は、車両が停止状態の時に行ってください。（事故に繋がる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

製品内容

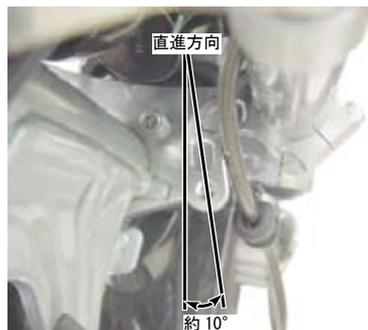
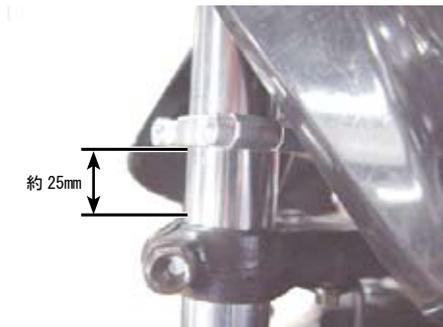


番号	部品名	個数	リペア品番
1	ダンパーステー	1	00-06-0140 (ソケットキャップスクリュー付)
2	フレームステー	1	00-06-0128 (Uボルト / フランジナット付)
3	Uボルト 6x15A	1	73741-GCR-T00
4	ソケットキャップスクリュー 6x25	2	00-00-0089 (10ヶ入り)
5	ソケットキャップスクリュー 8x25	2	00-00-0379 (4ヶ入り)
6	フランジUナット 6mm	2	00-00-0091 (6ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

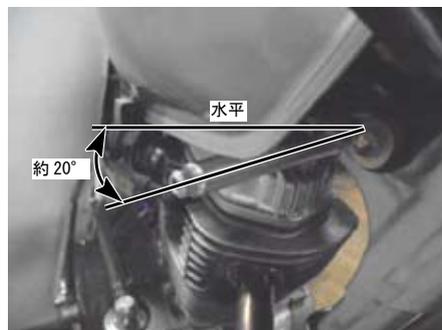
- 車両を安定させます。
- ボルト等を取り外し、サイドカバーを外します。
- ボルト、ナット / カラーを取り外し、シート / リアフェンダーを後方に引いて取り外します。
- スクリュー、トリムクリップ等を取り外し、シュラウドを取り外します。
- フューエルコックをOFFにし、フューエルチューブを取り外します。
フューエルタンクマウントボルト、リアシュラウドジョイントを取り外し、フューエルタンクを後方に引き取り外します。
- 右フロントフォークインナーチューブに
①ダンパーステーを挟み④ソケットキャップスクリュー 6x25 指定位置に仮締めをします。
※ダンパーステーの方向に注意する事。



- キット内の②フレームステーを③Uボルト 6x15A で指定位置にフレームに取り付け、⑧フランジUナットを用いて仮締めします。

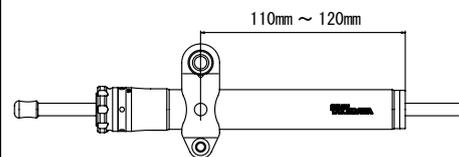


- フューエルタンクを取り付け、ボルトを締め付けます。
- シート / リアフェンダーを取り外しと逆手順で取り付けます。
- ②フレームステーの位置を指定位置に角度を付け調整します。



- 別売のステアリングダンパー本体に、ホルダーを入れ、②フレームステーに⑤ソケットキャップスクリュー 8x25 を用いて取り付け、ステアリングダンパーを指定位置に合わせ、ホルダーのボタンヘッドスクリューを規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボタンヘッドスクリュー
 トルク：5N・m (0.5kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

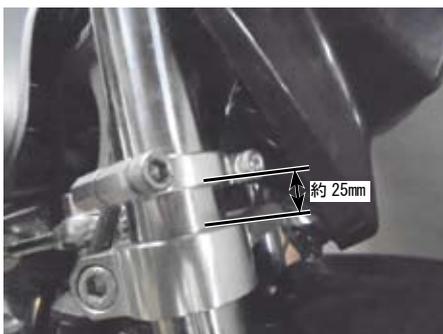
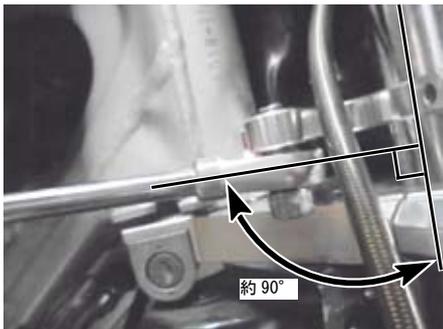
○ステアリングダンパー本体のロッドエンドを、
①ダンパーステーに⑤ソケットキャップスクリュー 8x25 を用いて取り付け、ソケットキャップスクリュー 8x25 を規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 8x25
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



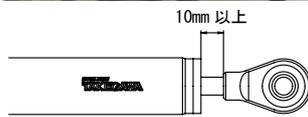
○ステアリングダンパーのロッドがフロントフォークに対して垂直になる様、①ダンパーステーの位置を指定寸法範囲に調整し、①ダンパーステー部の④ソケットキャップスクリュー 6x25 を規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x25
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

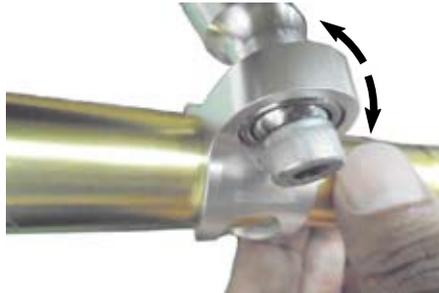


○ステアリングを左右一杯まで切った状態で、ステアリングダンパーと各部分にクリアランスがある事、ステアリングダンパーがステアリングのストッパーの代わりになっていない事、ステアリングダンパーのホルダーのボールエンド部（ピロボール）に遊びがあるかを確認します。（ステアリングストッパーに当たる前に、ステアリングダンパーのストロークでステアリングが止まる状態）

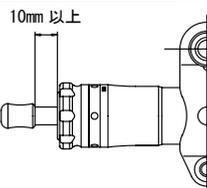
※クリアランスがない場合や、ステアリングダンパーがストッパーになっている場合は、再度各部の調整を行って下さい。
(右一杯に切った時)



ステアリングを左右一杯切った状態でホルダーが動く事を確認して下さい。



(左一杯に切った時)



ステアリングを左右一杯切った状態でホルダーが動く事を確認して下さい。



○②フレームステーの⑥フランジリナットを、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジリナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○ステアリングダンパーのホルダーを取り付けている⑤ソケットキャップスクリュー 8x25 を規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 8x25
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



○シュラウド、サイドカバーを取り外しと逆の手順で組み付けます。